



2012 年 2 月 28 日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号：9424)
問合せ先 代表取締役専務 CFO 福田 尚久
電話 03-5767-9100 (代表)

日本通信、b-mobile FMC を NTT 東西での全国展開へ

日本通信株式会社（以下、「日本通信」という）は、本日、西日本電信電話株式会社（以下、「NTT 西日本」という）と、フレッツ光用 ISP サービスと 3G モバイル通信用 SIM を組み合わせた固定携帯融合型サービス、「b-mobile FMC for フレッツ光」を NTT 西日本が販売する販売委託契約、および料金を NTT 西日本が回収代行する契約を締結いたしました。

「b-mobile FMC for フレッツ光」は、NTT 西日本のフレッツ光用の高速 ISP サービスと、3G モバイル通信用 SIM をセットにして月額定額 1,560 円でご利用いただくことができ、大変お得なサービス料金になっています。これによりお客様は、フレッツ光、ISP サービス、モバイル WiFi ルータ「光ポータブル」、および 3G 通信用 SIM の 4 点を、月額 5,277 円*からご利用いただけます。「おうちではフレッツ光×WiFi で快適に、おソトでも「b-mobile」を使った WiFi で、いつでもどこでもインターネットをお楽しみいただけます。」

さらに、NTT 西日本が提供する公衆無線 LAN サービス、フレッツ・スポットと組み合わせれば、外出時には、フレッツ・スポットがあるところでは家と同様に高速インターネットを利用し、フレッツ・スポットがないところでも 3G でインターネットを利用できます。NTT 西日本が提供する「光ポータブル」を使えば、フレッツ・スポットを自動検出して接続するので、フレッツ・スポットと 3G を使いこなせます。

NTT 西日本では、3 月 1 日より大阪府で申込受付開始し、順次西日本全域に拡大予定です。

日本通信は、家の内外でシームレスにインターネットを利用する、即ち固定網とモバイル網とを、意識することなく使いこなす FMC（Fixed Mobile Convergence）を NTT 東西と強力に推進してまいります。

日本通信の代表取締役社長三田聖二は、次のように語っています。

「MVNO 事業モデルは、新たに膨大な投資を行って基地局設備を敷設することなく、既に構築されているモバイル網のキャパシティを活用し、国民共有の財産である周波数をより有効に利用して、お客様ニーズに即したサービスを提供する事業モデルです。世界中の固定通信事業者が、自らの将来を守るにはモバイル通信を自由に使えることが不可欠ですが、MVNO 事業モデルの利用なしで、それを実現することは不可能です。このたびの NTT 東西様との協業により、日本通信が 16 年間一貫して提唱・推進してきた MVNO 事業モデルの有用性が認められたことを、大変光栄に思います。」

※ フレッツ 光ネクスト マンションタイプ ひかり配線方式 プラン 2 の場合

■日本通信について

1996 年 5 月 24 日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから 13 年の歳月を経て、2009 年 3 月、NTT ドコモとの相互接続により「MSO 事業モデル」を完成させ、それから 2 年弱でこのモデルの収益性を実証しました。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだし、自社 b-mobile ブランド製品をお客様に提供する MVNO 事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供する MVNE 事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

※記載されている内容は、発表日時点の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。